

教育目標 豊かな心を持ち たくましく実践する生徒

学校だより **じょうとう** 令和7年7月24日発行
第4号

上越市立城東中学校 TEL : 025-522-1168 Fax : 025-522-1169
URL <https://www.joto.jorne.ed.jp/> (文責) 教頭

二重目標を立てて、努力を続けていこう

校長 長谷川 晋

授業に、学校行事に、学級・生徒会活動に、一人一人のよさや個性が発揮され、城東中が日々挑進していることを実感した1学期がまもなく終わります。部や地域クラブの活動では、地区各種大会や県総合体育大会等に出場した選手や、地区吹奏楽コンクールに出場した奏者が、最高の舞台上、自分たちの力を精一杯発揮して、心・技・体の成長を締めくくる素晴らしい活躍を見せてくれました。

今月は生徒の皆さんに、「二重目標を立てて努力を続けること」について、下の枠内に紹介します。

2005年と2021年にドラマ化された「ドラゴン桜(著者 三田紀房さん) 講談社」という漫画があります。元暴走族の経歴をもつ 桜木健二 弁護士が、5年後に東大合格者100人を出す計画を考案し、経営難の私立高校を立て直すという物語ですが、さまざまな勉強法や受験テクニック、受験に臨む心構えが紹介され、話題になりました。物語の冒頭、桜木 は明確な目標をもつ大切さを語ります。

人間は、はっきりとゴールが見えれば準備をし、達成へと着実に進む。逆に、目標をもたなければ、漂流し、やがて無気力になっていくんだ。

これは、長距離走に例えると分かりやすいでしょう。ゴールが見えれば「あそこまで」と頑張ることが出来ます。ゴールが見えないと徐々にづらくなり、やがて走るのをあきらめてしまいます。

また、12巻では、理科の 阿院修太郎 特別講師 が、「二重目標」という考え方を語ります。

目標を立てるときは、二重に準備するといいいです。普通は誰もが「〇〇を〇〇だけやるぞ」と目標を立てます。「物理の問題を毎日15問解くぞ」というようにね。でもたいていは三日坊主で終わる。なぜなら、目標がただの願望になっていて、「昨日できなかったから今日は倍やるぞ」などと無理を重ねてしまうから。そして、ひとつ失敗すると、すべてがダメだと思ってあきらめて投げ出してしまう。これを防ぐために、目標を二つにするのです。最低限なしとげたい目標と、もしできたら理想的な目標の二つを用意するのです。

そして、阿院 の話を聞いていた英語の 井野真々子 教諭 は、心の中でつぶやきます。

二重目標・・・これは使えるわ。例えば、英単語を覚えるのに最低でも10個、理想は50個、この間ならOKとかね。

つまり、「低い目標」と「高い目標」を同時にもつとよい ということです。

言い換えれば、「短期的な目標」と「長期的な目標」を同時にもつとよい ということです。例えば、「長期的な目標」とは、「数学のまとめテストで20点上げる」といった、すぐには達成できないが最終的に達成したい目標です。ただ、これだけでは、なかなか行動につながりません。そこで、そのためにまず、何を達成すればよいかを考え、「計算問題を毎日10問解く」とか「今日(今週)中に、問題集の〇ページまで終わらせる」など、より具体的に「短期的な目標」を立てるのです。ちなみに、東大生の多くは、具体的な数値を入れた目標を掲げて、勉強をした経験があるそうです。

さて、上記の考え方は、テスト対策や受験対策の話のように聞こえるかもしれませんが、大人が仕事をする際にも、同じようなことをやっているのです。仕事をする上では必ず目標があり、それを達成するために一人一人が役割を担い、方策を考え、実現させるためのスケジュールを立てていきます。つまり、日頃の自主学習やテスト対策で、目標に向かって頑張りを続けることは、必ず大人になってから、役に立つということです。社会に出る前の訓練になっているとも言えます。

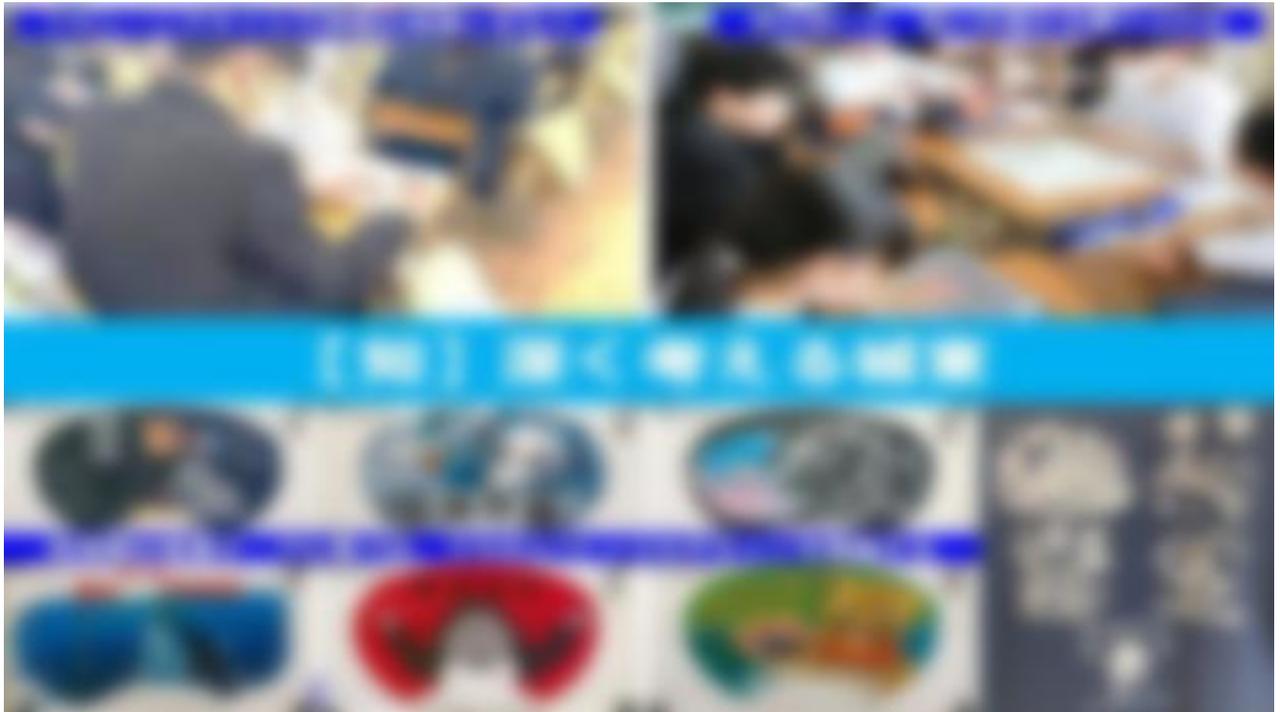
目標に向かって勉強することは、絶対にムダにはならない。社会に出て働くための力を付けていると考えると、勉強へのやる気や意欲も高まっていくのではないのでしょうか。

城東中生の皆さん、1学期の通知表を受け取ったら、評価・評定に一喜一憂するだけではなく、これまでの努力が成果を上げた点や、取組が不十分だった点を自分自身で振り返って、夏休みや、2学期の学習における具体的な改善策を考え、二重目標を立てて、努力を続けていきましょう。

結びに、保護者や地域の皆様のご理解とご協力のおかげで、1学期の教育活動を充実させることができました。心より深く感謝申し上げます。夏休みは、家庭や地域で過ごす時間が多くなります。引き続き、「チーム城東」の一員として、子どもたちを見守っていただきますようお願い申し上げます。

一人一人のよさや個性が発揮された！学期でした！

「深く考える」「思いやる」「やりとげる」をキーワードに1年生75日間、2・3年生76日間を走り抜きました。



朝活動ではスケジュールノートを用いて日々の予定を確認したり、振り返ったりする姿勢が身に付いている生徒が多く見られます。読書に没頭する姿もあり、読書に親しむ習慣が定着しつつあります。

普段の授業では、落ち着いた態度で毎日の課題に取り組んでおり、単元ごとの「まとめテスト」や「パフォーマンステスト」では、もてる力を精一杯発揮しています。



授業や学級・生徒会活動、体育祭などの学校行事を通じて、自他を認め、思いやる心が育まれています。多様な活動に積極的に取り組んでおり、互いを認め合い、支え合い、高め合う人間関係づくりが進められています。



地域展開が進む中、部活動でも力を発揮しています。仲間と共に切磋琢磨しながら、普段の教育活動だけでは学べないことをたくさん学んでいます。

スマートフォンや SNS の管理について

近年、スマートフォンや SNS（ソーシャルネットワークサービス）の利用に起因する生徒間のトラブルや不適切な投稿、犯罪被害につながる事例が全国的に増加しています。当校でも自画像が性的なことばを加えて加工され、SNS に投稿されてしまうという事案が発生しました。デジタルタトゥーとして永遠に残り続ける画像が原因となり、本人やご家族は目に見えない恐怖に怯えなければいけない現状にあります。本人やご家族の心のケアを最優先にするとともに、生徒のスマートフォンや SNS の利用について学校と家庭が連携し、危機感をもって啓発活動を進めていく必要があります。

7月24日（木）には、SNS 講演会を実施し、スマートフォンや SNS の利用方法について振り返らせるとともに、別紙「生徒のスマートフォン及び SNS 等の管理について」を配付し、生徒と保護者に対して、注意喚起を行いました。

つきましては、二度とこのような事案が繰り返されないよう、各ご家庭で配付された文書の内容について確認していただき、**保護者の責任において、お子さんにスマートフォンを買い与える場合は、利用方法について必ずご指導をお願いいたします。**

8月の主な予定

- 22日（金）学力テスト（全学年）
- 28日（木）2学期始業式、新人水泳・陸上・各種大会激励会
- 29日（金）地区新人水泳大会



9月の主な予定

- 1日（月）教育実習（～22日）、教育相談（～5日）
- 11日（木）学校運営協議会②
- 18日（木）地区新人陸上大会
- 25日（木）2年修学旅行（～27日）



まだまだ続く青春の1ページ！！

7/4（金）5（土）には通信陸上新潟県大会、7/5（土）～21（月）には新潟県総合体育大会が開催されました。予選を勝ち抜いたり、参加標準記録を突破したりしての大舞台。学校や地区の代表として、堂々と戦ってくれました！高いレベルで競い合い、また新しい学びがあったようです。

また、7/20（日）には上越地区吹奏楽コンクールが開催されました。凜と輝く城東サウンドを会場いっぱいに響かせました！

なお、紙面の関係上、団体戦の結果と個人の入賞者のみ掲載しました。

【陸上競技】

通信県大会

3年走高跳 1m40

→6位

2年100m 11"40

→A決勝2位、北信越大会出場！

【女子ソフトテニス】

団体戦

1回戦 対 Dream Ace 2-1

2回戦 対 燕SS 0-3

→ベスト8



【男子バレーボール】

1回戦 対 越路 2-0

2回戦 対 七葉 0-2

→ベスト8

【剣道】

団体戦

2回戦 対 魚沼クラブ 1-0

3回戦 対 泉桜剣士会 0-1

→ベスト8

【吹奏楽】

上越地区吹奏楽コンクールB編成の部 金賞

→県大会出場！



教育広報誌かけはしが発行されました

新潟県教育委員会において教育広報誌「かけはし」65号が作成されましたので、ご一読いただきますようお願いいたします。

※データは新潟県HPに掲載しておりますので、下記2次元コードからご確認ください。

教育広報誌 令和7年(2025年)7月11日発行 vol.65

かけはし

2次元コードから見る → 

または

新潟県 かけはし で検索 

にいがた 教育の日 KYOIKU NOV.1

